

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 10 月 28 日（水）18：30～19：53

場 所：南角田公民館

出席者：8 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町長：他の会場では、整形外科の午後診療や、皮膚科と泌尿器科が週 1 日の出張医なので、常勤医師の配置などの要望が出ている。栗山赤十字病院とも協議して検討していきたいと考えている。

町民：財政的な面も考慮して、診療科目を決めるべきではないか。12 の診療科目がそもそも必要なのか。将来的に人口減少していく中で、現状の診療科目を維持するのは厳しいのではないか。近隣の町の病院で対応できる診療科目は、栗山赤十字病院の診療科目から外して経費削減するような考えも必要なのではないか。

町長：今、町から栗山赤十字病院に対して、救急告示などの補助金 9700 万円を払っている。国から 7300 万円が交付金として入ってくるので、実質的には約 2000 万円の負担額になる。国は

病院改善に向けた方向付けをしているので、病床数を 136 床から 100 床程度にダウンサイジングすることで、今の 7300 万円から倍近くの補助額になる。そういった補助などを活用して栗山赤十字病院の建て替えに向けていきたい。

町長：他の病院との連携は必要だと思う。診療科目の件は十分配慮しながら進めていきたい。

町民：栗山赤十字病院の建設予定面積は 7200 m²ということだが、今の建設面積はどれくらいあるのか。現状の土地では駐車場が狭いのではないか。別な場所に建てるとすると候補地はどこがあるのか。

町長：栗山赤十字病院の裏に建て替えのできる土地がある。使用していない建物を解体して建て替えると、図面上での話になるが十分な大きさは確保できる。

町長：移転場所の候補地は、栗山駅周辺や、角田地区周辺、栗山由仁線の農産物検査付近はどうかといった意見が出ている。ただ、現実的には、解体費用の捻出が難しいことから、現地で建て替えが望ましいと考えている。今の栗山赤十字病院の延べ面積は 8765 m²だが、100 床にダウンサイジングするので、そこまでの大きさにはならないと思う。3 階建て程度になると思う。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町長：コロナの関係で、国の予算が足りないといった話も出ていると聞いた。

町民：次期作支援の話だと思うが、50%の収益減少が見込まれたものしか結局支援してもらえないような話になっている。また、収益減少の説明に必要な申請をもう一度するような話も出ている。

町長：町はコロナ関連で 9 億円を支援した。そのうち国から 5 億 7 千万の補助があった。3 億 2000 万円が町の持ち出しになったが、国の補助や有利な起債などを活用した。農業者へは農協と協議して支援することを検討している。12 月頃にはその交付金を支給したいと考えている。

町民：コロナが発症した 2 月下旬から、みんな自粛で病院に通うことも控えている。栗山赤十字病院は、どのくらい通院患者数が減ったのか。結局、病院に行かなくてもいい患者もいたということになる。全体的にどれだけ減少したのかわかれば教えてほしい。

町長：栗山赤十字病院には、町から防護服セットなどの支援をした。発熱外来を公表していなかったが、実際は運用をしていた。栗山赤十字病院のほか、個人病院などの医療従事者に対する支援も行っていた。

日赤改築室長：栗山赤十字病院利用者は毎月 4100 人が受診している。今回のコロナで約 2 割の受診者が減少したと聞いている。

日赤改築室長：11 月 9 日から、建物右側に発熱外来を開設する。午前中に電話で予約をし、午後からの診察となる。PCR 検査自体はできないが、検体を採取して、検査に出すことができる。検体提出後、2 日から 5 日くらいで検査結果が分かる。また、唾液を採取して抗体を調べる抗原検査も行える。こちらは 1 時間くらいで検査結果が出る。発熱などの症状があつて検査を受ける場合は保険が適用される。症状が無い状態で検査をする場合は、自己負担になるので PCR 検査で 2 万円、抗原検査は 7500 円かかる。65 歳以上の人が検査する場合の補助制度を検討している。

町民：近隣の病院ではそのような検査はできないのか。もしできないのであれば、コロナの感染疑いがある患者が多く集まることになり、感染拡大に繋がってくるのではないかと。

日赤改築室長：近隣の病院でも検査は行っているのだから、栗山赤十字病院に集中することは少ない。

町長：介護福祉学校には町から 8000 万円を支援している。学校改善計画をして支援を 4000 万円にしたいと考えている。町から 4000 万円の支援に値する学校になるように努力してもらおう。福祉施設の介護人材確保のためにも介護福祉学校にはがんばってもらいたいと思っている。

先日、武田総務大臣と対談したとき、介護人材不足は全国の問題なので、例えば、介護福祉学校を町立ではなく道立の学校にしたらどうか。また、北海道大学の付属学校にしたらどうかなど、大臣自身いろいろ考えていただけるといった話をしてもらえた。前向きな話をしていただけたのは初めてのことであったのでありがたく思っている。北海道でも 2 万人の介護人材が不足といわれているので、将来的にも深刻な問題になる。総務大臣から提案をいただけたのは良かったと思っている。

町民：光回線の説明会はいつごろの予定か。

副町長：来年 2 月頃に、住民説明会を行いたい。

町長：光回線網の整備に伴い、170 件の契約が求められるので、町としてもしっかりと PR していきたい。

町民：道営南角田基盤整備事業もようやく終わりを迎え、きれいに整備されて本当に感謝している。今後ともよろしく願いたい。

19：53 終了